



JA種子屋久自己改革の取り組み報告

JA種子屋久では、「自己改革実践サイクル」に係る3つの方針を整理し、6月開催の総代会において「自己改革取組宣言」を決定しました。方針の1つである自己改革を実践するための具体的な方針として「農業者の収入拡大・コスト抑制」につながる取り組みについて目標を掲げ、農業者の所得増大に取り組んでいるところです。

つきましては、令和4年度の取り組み状況について以下のとおりご報告いたします。

○さとうきびの多収性品種「はるのおうぎ」推進による単収向上

| | | | |
|---------|--------|-------|--------|
| R4 推進目標 | 500 ha | R4 実績 | 508 ha |
|---------|--------|-------|--------|

これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・関係機関（行政、新光糖業）と連携した多収性品種の特性、栽培等についての研修会の実施。品種推進実施。（はるのおうぎ）

R5年度推進目標：800ha

○原料用甘藷の多収性品種「こないしん」推進による単収向上

| | | | |
|---------|--------|-------|--------|
| R4 推進目標 | 310 ha | R4 実績 | 280 ha |
|---------|--------|-------|--------|

これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・関係機関（行政、一元集荷連絡協議会）と連携した多収性品種の特性、栽培等についての研修会の実施。品種推進実施。（こないしん）

R5年度推進目標：444ha

○たんかん優良台木「トロイヤー・シングル」への転換推進による単収向上

| | | | |
|---------|--------|-------|--------|
| R4 推進目標 | 2.5 ha | R4 実績 | 2.5 ha |
|---------|--------|-------|--------|

これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・技連果樹指導班による早期成園化に向けた現地研修会の開催。
- ・果樹産地協議会による改植事業推進説明会の実施。

R5年度推進目標：3.0ha

○低コスト肥料の取扱拡大を通じたコスト抑制

| | | | |
|---------|----------|-------|---------|
| R4 推進目標 | 49,600 袋 | R4 実績 | 2,410 袋 |
|---------|----------|-------|---------|

これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・屋久島果樹配合、新たな低コスト肥料の普及拡大。
- ・技連会、経済連肥料農薬課と連携した低コスト肥料の検討。栽培暦の変更。
- ・熊毛支場にて低コスト肥料試験圃場設置。



天秤座
9/23
～10/23

【全体運】吉凶混合運です。その場だけで一喜一憂しないで。前向きな姿勢が吉運を引き寄せます。うれしい贈り物の予感も
【健康運】血圧は小まめにチェック。軽い散歩が◎
【幸運を呼ぶ食べ物】ソラマメ